

給付対象から除かれる場合があることから、その確認が必要となる。また、こども加算給付金においては、対象児童の養育状況等の確認が見込まれる。

**問**住民税均等割のみ課税世帯にも拡大し、10万円給付と対象児童へ5万円を給付する内容だが、所得階層のモデルを伺う。

**答**収入の種類や扶養親族の状況等により異なるが、住民税均等割のみ課税世帯の三つのモデルを挙げる。

一つ目は、給与収入のある単身世帯の場合、年間給与収入額は約97万円から約100万円である。

二つ目は、夫・妻・子の3人世帯で、給与収入のある夫が妻と子を扶養している場合、年間給与収入額は約188万円から約221万円である。

三つ目は、70歳の夫婦の2人世帯で、年金収入のみの夫が妻を扶養している場合、年間年金収入額は約202万円から約222万円である。

## 討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

### 議案第79号

## 長寿祝い金支給条例の一部改正

反対 | 日本共産党

長寿祝い金事業は、高齢者が楽しみにしている事業の一つである。平成21年度から77歳、88歳、99歳、100歳以上の節目支給となり、改正によりさらに縮小される。

年々対象者が増えるとはいえ、10年後の試算は令和4年度決算対比で3千万円増の1億829万円。以前の健康長寿奨励金事業2億2200万円の半分以下。この額は直ちに本市財政を圧迫するものではなく、現段階で条例改正は必要ないものである。

反対 | 無所属

このような条例改正は時間をかけ市民に理解してもらわなければならない。市長は議案を提案するのは私の権利で、議決するのは議会の責任であるかのような提案の仕方。可決されれば議会が賛成したと言うのだ。市長は退職金約1億円を返納し、高齢者の楽しみを奪うのではなく来年だけでも継続すべきと申し上げ反対討論とする。

### 議案第82号

## 国民健康保険税条例の一部改正

反対 | 日本共産党

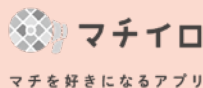
物価高騰など市民生活が大変な中で、保険料の引き上げをするべきではない。国保の構造的矛盾を解消しないまま赤字を解消することを優先すれば、医療費がかかるほど被保険者の保険料の負担が今後も増えていくことは明らかである。協会けんぽや共済組合など他の健康保険と比べて保険料が2倍になるなど、差別的な均等割がある。国や県主導の赤字解消・削減計画や保険税率の統一化には反対。市は繰り入れを行い保険料を抑えるべきだ。

賛成 | 無所属

産前産後期間の保険税の減額が、子育て支援の一助となれば良いと考える。子の数が多いと負担増となる子どもの均等割保険税の軽減要望も継続している。物価高騰で生活が苦しい中での改定だが、急激な負担増を避け、納税相談では寄り添うとしており、赤字解消のため進めているデータヘルズ計画が進んでいることから賛成する。

## 広報紙配信アプリ 「マチイロ」について

かわごえ議会だよりは、市議会ホームページの他、  
広報紙配信アプリ「マチイロ」を用いて、スマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。



川越市のさまざまな情報も見られますので、ぜひご利用ください。

アプリのダウンロードはこちらから ▶



## 点字版・音声版 議会だより

点字版および音声版の議会だよりも発行しております。送付をご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

なお、最新の音声版かわごえ議会だよりは川越市議会ホームページでお聞きいただけます。今号の音声版は2月下旬ごろアップロード予定です。

音声版かわごえ議会だよりの音声はこちらから ▶

